



小樽商科大応援団の激励を受け出港するにっぽん丸

「緑地広場 民間運営に」

小樽市長 国の制度活用方針

小樽市の迫俊哉市長は29日の定例記者会見で、小樽港第3号埠頭基部に2026年度オープン予定の緑地広場について、民間事業者が収益施設と公共部分を一体的に維持運営する国交省の「みなと緑地PPP（港湾環境整備計画制度）」を活用

する考えを明らかにした。9月1日から事業者を公募する。緑地広場は旧観光船ターミナルや公衆トイレなどの跡地に設け、広さ4637平方メートル。

迫市長は、同制度の導入で、「野外イベントの開催や飲食店の出店など

催。小樽港を起点に、利尻島や根室管内羅臼町に寄港するツアー「飛んでクルーズ北海道」が今年で20年目を迎えることを記念して開かれた。旅客船ターミナルで行われた式典には市やにっぽん丸を運航する商船三井クルーズ（東京）の関係者など約20人が出席。小樽港クルーズ推進協議会の西條文雪副会長は「港に停泊するにっぽん丸はなじみの深い風景だった。素晴らしい船旅になりますように」とあいさつした。

にっぽん丸は午後7時ごろに出港。小樽商科大の応援団による激励や、おたる潮太鼓保存会による和太鼓演奏で見送られた。ツアーは今年31日に小樽港に戻る。商船三井クルーズによると、にっぽん丸引退後も同社が運航する別の船でツアーを継続するという。

（和田樹）

リタロード守って社員ら15万円寄付

ニッカウヰスキー

【余市】JR余市駅から町役場までの歩道「リ

激励受け 小樽から海へ

来年引退「にっぽん丸」

小樽港発着で北海道内を周遊する大型クルーズ客船「にっぽん丸」（2万2472ト）の出発式が28日、同港第3号埠頭で開かれた。にっぽん丸

は来年5月に引退する予定で、今年が最後の寄港となる。

出発式は小樽港クルーズ推進協議会と北海道クルーズ振興協議会の共